

校長だより

国際理解シンポジウムを実施しました

●7月18日(火)、本校を会場にして国際理解シンポジウムを開催しました。国際理解シンポジウムは、グローバル化が進行する現代を生きる資質を生徒に身につけさせることを目的として、企画、実施したものです。昨年度は「食」をテーマとしたシンポジウムを行いました。

第2回となる今年度は、私たちにとって身近な「衣服」をテーマとしました。パネリストとしてウクライナ、中国、ガーナ、カナダの4カ国出身の大学の教員や学生らを招き、各国の衣服の事情などを話してもらいました。また日本代表として、本校生徒会長に加え、2年後の発展的統合の相手校である伊川谷北高校の生徒会の皆さんにも参加していただきました。司会は、本校コミュニケーション類型の生徒たちが、日頃から授業でお世話になっている塩川先生に担当いただきました。

○ウクライナでは本来、服は宗教的な意味を持つ、大切なものであったそうです。

○社会主義国の中国においても服は、貴重なものでした。しかしグローバル化の進行により、H&MやZARA、ユニクロなど、ファストファッションのブランドが進出し、服に対する考え方も変化し、服はどんどん買って、流行が過ぎれば捨てるものという考え方が広まるようになりました。

○ガーナでは、多数の国内外の古着などがオープンマーケットで売買されているそうです。一方で売れ残った大量の服が海岸などに捨てられるといったことも起こっているそうです。

○カナダでも安価なファストファッションが流行していましたが、主要生産国のバングラディッシュのアパレル工場が爆発したことなどが問題視され、ファストファッションへの安易な依存への反省の動きも見られるとのことでした。

こうした発表とともに、各国の服のリユースやリサイクルの事情など、環境保護の取組などについても情報交換をすることができました。

今回のシンポジウムでは、ファストファッションの世界的な広がりを知るとともに大量生産、大量消費の生活習慣が世界的な規模で環境に大きな負荷をかけていることについて学ぶことができました。これらの学びを私たちのこれからの行動につなげていきたいと感じました。



シンポジウムに参加していただいたパネリストの方々と本校および伊川谷北高校の生徒会のみなさん

※当日の様子は神戸新聞にも掲載されました。

創立50周年記念準備委員会を開きました

7月26日(水)、同窓会、PTA、翠親会(本校PTAのOB組織)の方々に本校に集まっていたいただき、令和7年度に創立50周年を迎える伊川谷高校の50周年記念事業計画を立てるため、創立50周年記念準備委員会を開きました。

本校が創立50周年を迎える令和7年度は、本校と伊川谷北高校が発展的に統合し、新しい学校がスタートする年です。(校地は、現伊川谷北高校を想定)

開校以来、伊川谷高校の発展のために力を尽された多くの同窓生や在学生、保護者、地域の方々、さらには教職員のみなさんの足跡や様々な思いを、新しくつくられる学校にも引き継いでいきたいと考えています。

伊川谷高校の創立50周年の記念式典は、令和7年11月に予定しています。またそれとともに様々な記念事業を企画、実行していきたいと考えています。

今後とも変わらぬご支援をお願いいたします

祝
創立50周年